

2024年度 卒業生（4年次生）アンケート報告書

川崎医療福祉大学
FD・SD委員会

本学の「卒業生（4年次生）アンケート」は、入学依頼の本学の教育課程に対する満足度およびディプロマ・ポリシーの達成度を把握するために行っている。この調査は、2006年度より始まり、毎年実施している。

1. 実施状況

1-1 実施対象と実施方法

対象は卒業を前にした4年次生で、2024年度の対象者数は931名であった。アンケートはWebClassを使用して、オンラインにて実施した。質問項目は巻末の資料1の通りである。

1-2 実施期間

2024年9月9日（月）～2025年3月19日（水）

2. 実施結果

2-1 回収率

回答数は890件で、回収率は95.60%と、昨年度90.41%を上回った。最も回収率の高い学科は100%、最も低い学科は85.94%であった。来年度は、さらに回収率を上げるための準備をすすめる。

2-2 卒業後の進路（質問1）

全学的には医療機関61.48%（昨年度59.93%）、福祉施設9.44%（昨年度11.50%）、医療・福祉系企業6.01%（昨年度4.02%）、一般企業8.15%（昨年度8.59%）、官公庁（公務員）6.12%（昨年度5.47%）、進学4.94%（昨年度5.92%）、その他3.86%（昨年度4.58%）であった。昨年に比べて医療機関、医療・福祉系、官公庁（公務員）の就職者が増加し、福祉施設、一般企業の就職者と進学、その他が減少した。

2-3 教育全体に対する満足度（質問 2）

全学の教育全体に対する満足度の平均値は 4.05（昨年度 3.93）であった。学科別にみると、健康体育学科 4.46 が最も高く、臨床栄養学科 3.62 が最も低かった。

表 1 学科別の教育全体に対する満足度、ディプロマ・ポリシー達成度、授業に対する評価

学科	人数	#2-3	#2-4 ディプロマポリシー達成度				#2-5 授業に対する評価		
		満足度	①	②	③	④	まとめり	臨機応変	シラバス適合
11 福祉	72	3.99	3.82	4.01	3.99	3.63	4.00	3.97	4.08
12 心理	76	3.86	3.74	3.70	3.64	3.32	3.82	3.76	4.11
13 子ども	60	3.98	3.80	3.87	3.75	3.90	3.90	3.78	3.80
21 看護	120	4.26	4.18	4.27	4.25	4.17	4.26	4.23	4.34
31 理学	63	4.21	4.03	4.03	4.02	3.84	4.22	4.22	4.24
32 作業	53	4.25	4.08	3.98	4.04	3.74	4.11	4.13	4.26
33 言語	46	4.13	4.22	4.17	4.11	3.93	4.07	4.22	4.35
34 視能	47	3.68	3.68	3.68	3.81	3.64	3.87	3.81	3.94
41 臨検	63	4.00	3.87	3.84	3.89	3.90	4.02	3.87	4.14
42 放射	62	4.02	3.90	3.89	3.89	3.94	3.92	3.90	4.15
43 臨工	73	3.82	3.70	3.92	3.95	3.96	3.85	3.88	4.00
44 栄養	37	3.62	3.81	3.84	3.84	3.84	3.54	3.57	3.89
45 健体	52	4.46	4.31	4.38	4.17	4.27	4.33	4.31	4.25
51 経営	30	3.97	4.30	4.23	4.30	4.20	4.07	4.13	4.20
52 秘書	34	4.09	4.06	4.09	4.12	4.09	4.18	4.03	4.38
53 情報	30	4.23	4.00	4.13	4.10	3.90	4.30	4.47	4.43
54 デザ	14	4.43	4.14	4.21	4.21	4.21	4.21	4.29	4.07
総計	932	4.05	3.96	4.00	3.99	3.89	4.04	4.02	4.16

2-4 ディプロマ・ポリシーの達成度（質問 3）

4つのディプロマ・ポリシーについて、達成度を5段階で評価してもらった。それぞれ平均値を示すと、「①幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。」3.96（昨年度 3.90）、「②豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。」4.00（昨年度 3.96）、「③医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。」3.99（昨年度 3.92）、「④4年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。」3.89（昨年度 3.82）であった。

2-5 在学中に受講した授業についての評価（質問 4～6）

在学中に受講した授業について、5段階で評価してもらった。それぞれ平均値を示すと、授業内容のまとめり（質問 4）4.04（昨年度 3.93）、教員の臨機応変さ（質問 5）4.02（昨年度 3.92）、シラバスに沿った内容（質問 6）4.16（昨年度 4.13）であった。

2-6 基礎教育科目の分野別満足度（質問 7）

基礎教育科目の満足度の平均値を分野別にみると、医療福祉分野が 4.08（昨年度 3.90）と高く、国際コミュニケーション分野が 3.83（昨年度 3.69）と低かった。

表 2 科目分類別の授業満足

学科	人数	基礎教育科目						専門科目			
		医療福祉	教養	国際コミュ	健康体育	情報	総合	講義	演習	実習	卒研
11 福祉	72	4.22	3.92	3.69	3.79	3.83	4.10	4.11	4.24	4.35	4.35
12 心理	76	3.89	3.89	3.49	3.63	3.72	3.83	3.95	3.88	3.82	4.22
13 子ども	60	4.07	3.97	3.63	3.93	3.78	4.00	3.88	3.83	4.20	4.37
21 看護	120	4.22	4.24	4.15	4.15	4.18	4.28	4.36	4.39	4.43	4.43
31 理学	63	4.06	4.06	3.73	3.86	3.86	4.02	4.40	4.41	4.35	4.37
32 作業	53	4.19	4.25	3.81	3.91	3.83	3.92	4.08	4.38	4.49	4.19
33 言語	46	4.15	4.11	4.11	3.98	4.00	4.07	4.30	4.39	4.39	4.30
34 視能	47	3.89	3.87	3.66	3.66	3.85	3.87	3.94	3.98	3.91	4.19
41 臨検	63	3.97	3.97	3.92	3.71	3.89	3.95	4.13	4.19	4.29	4.29
42 放射	62	4.10	3.97	3.77	3.69	3.76	3.90	4.15	4.15	4.24	4.39
43 臨工	73	3.92	3.90	3.70	3.67	3.88	4.01	4.01	4.08	4.25	4.23
44 栄養	37	3.62	3.43	3.46	3.57	3.54	3.54	3.86	3.84	3.84	3.89
45 健体	52	4.19	4.33	4.15	4.50	4.15	4.29	4.46	4.48	4.50	4.65
51 経営	30	4.23	4.23	3.93	3.93	4.37	4.30	4.30	4.23	4.27	4.43
52 秘書	34	4.29	4.29	4.29	4.15	4.29	4.38	4.26	4.38	4.41	4.65
53 情報	30	4.20	4.17	3.83	3.90	4.50	4.37	4.20	4.23	4.33	4.67
54 デザ	14	4.07	4.14	3.64	3.86	4.00	3.93	4.50	4.36	4.43	4.57
総計	932	4.08	4.04	3.83	3.88	3.94	4.05	4.16	4.20	4.26	4.35

2-7 専門科目の授業形態別満足度（質問 8）

専門科目の満足度の平均値を授業形態別にみると、講義科目 4.16（昨年度 4.07）、演習科目 4.20（昨年度 4.12）、実習科目 4.26（昨年度 4.20）、卒業研究（ゼミナール）4.35（昨年度 4.29）と、全ての授業形態において昨年度より高い評価であった。

3. 自由記述

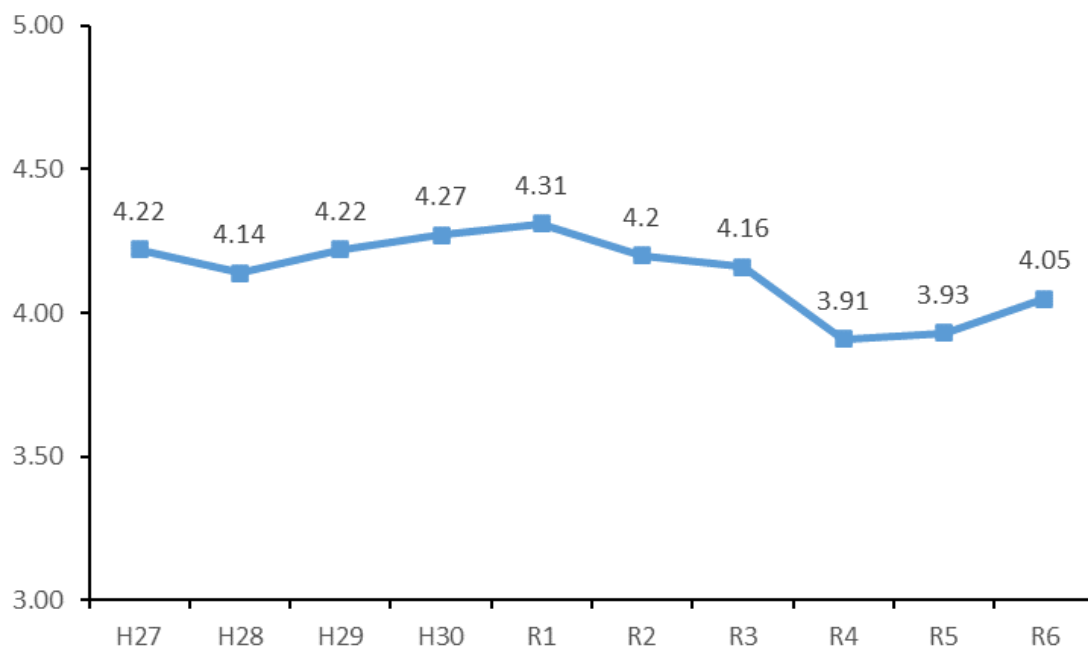
今年度もさまざまな意見が集まった。コロナ禍で基礎教育科目の体育の実技科目が身体を十分に動かせない内容であったことに対する不満が見られた。また、施設面の整備についての意見も例年同様に見られたことに加え、大学のペーパーレス化に対する意見もみられた。大学全体及び各学科において十分に検討されることを期待する。また、一部の教員の問題行動や不満を指摘したのもあった。なお、自由記述をまとめたものについては別途保管する。

4. まとめ

今年度も、オンライン形式でアンケートを実施した。今年度は回収率が回復したが、回答呼びかけを積極的におこなう等により、回収率を100%近くまで上げることが望まれる。

教育全体に対する満足度の平均値については、今年度は4.05と昨年度の3.93を上回ったものの、3年前まで安定して4.1以上の満足度であった水準に戻っていない。また、ディプロマ・ポリシーについての達成度だが、今年度は微増傾向ではあったものの、すべての項目で4.0点以下であった。この項目の達成度を上げること、全体の満足度を上げることにつながると考えられる。加えて、教育全体に対する満足度の低迷は近年の志願者数低下による入学生の学力低下に教育方法が十分に対応し切れていない可能性も考えられる。大学・学科で協力して継続的な対策をおこないつつ、今後の全体満足度の経年変化を注視していく必要がある。

図1 教育全体に対する満足度の10年間の経年変化



2024年度 卒業生（4年次生）アンケート

本学では、在学中の教育について皆様の率直な感想を伺い、今後の教育改善に活かしていきたいと考えています。趣旨をご理解のうえ、以下の質問に回答をお願いいたします。なお、回答内容については匿名となります。

必須

質問1.卒業後の進路（希望を含む）

- 医療機関に就職
- 福祉施設に就職
- 医療・福祉系企業に就職
- 一般企業に就職
- 官公庁（公務員）に就職
- 大学院・その他教育機関に進学
- その他

必須

質問2.本学で受けた教育について、全体としてどの程度満足していますか。

未回答

満足していない  満足している

必須

質問3.本学では、大学の理念と教育理念のもと、以下の学習成果の獲得を教育目標としています。自身の達成状況について5段階で自己評価してください。

①幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。

未回答

達成できなかった  達成できた

必須

②豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につける。

未回答

達成できなかった  達成できた

必須

③医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。

未回答

達成できなかった  達成できた

必須

④4年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。

未回答

達成できなかった  達成できた

必須

質問4.在学中に受講した授業の内容は、全学的に整理され、まとまっていたか。

未回答

整理され、まとまっていなかった  整理され、まとまっていた

必須

質問5.在学中に受講した授業の担当教員は、全体的に受講生の様子をよく見ながら臨機応変に授業を進めていましたか。

未回答

進めていなかった  進めていた

必須

質問6.在学中に受講した授業は、全体的にシラバスの記載内容に沿って行われましたか。

未回答

行われなかった  行われた

必須

質問7.基礎教育科目についてお尋ねします。それぞれの分野について、どの程度満足していますか。

①医療福祉分野

未回答

満足していない  満足している

必須

②教養分野

未回答

満足していない  満足している

必須

③国際コミュニケーション分野

未回答

満足していない  満足している

必須

④健康体育分野

未回答

満足していない  満足している

必須

⑤情報分野

未回答

満足していない  満足している

必須

⑥総合分野

未回答

満足していない  満足している

必須

質問8.専門科目についてお尋ねします。それぞれの授業形態の科目について、どの程度満足していますか。

①講義科目

未回答

満足していない  満足している

必須

②演習科目

未回答

満足していない  満足している

必須

③実習科目

未回答

満足していない  満足している

必須

④卒業研究（ゼミナール）

未回答

満足していない  満足している

質問9.質問項目2～8のうち、「1」または「2」と回答された方は質問番号と以下にその理由をお書きください。
（任意）

質問10.本学の教育に関して何かご意見がありましたら、自由にお書きください。（任意）

回答する